

この単元で 身につけるべき力	知識・技能 動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、 <u>生命を維持する働き</u> についての <u>基本的な概念や原理・法則</u> などを理解しているとともに、 <u>科学的に探究するために必要な観察、実験</u> などに関する基本操作や記録などの <u>基本的な技能</u> を身に付けている。	B: 感覚器官や運動器官、神経系について理解している。 A: 動物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら、理解している。	A A A
	思考・判断・表現 動物の体のつくりと働きについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、 <u>動物の体のつくりと働き</u> についての <u>規則性や関係性</u> を見いだして表現している。	B: 観察、実験の結果から動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだしている。 A: 体のつくりと働きを学んだことを基に説明できている。	
	主体的に取り組む態度 動物の体のつくりと働きに関する事象・現象に進んで関わり、 <u>見通し</u> をもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	B: 目標の達成を目指して、自らの学びを振り返りながら、 <u>自己調整</u> するために、学習キャリアパスポートを活用している。 A: 自己の学習状況をメタ認知しながら、粘り強く取り組んでいる。	
過去の単元の 成果と課題を活かす	知・技 良さ 実験の基本操作や記録などが行いたいことができる。	課題 基本的なことを身につけること、言葉で説明すること。	
	思・判・表 良さ 実験の結果から分析、考察できる。	課題 規則性や関係性を見いだすこと。	
	主体的 良さ 自らの学びを振り返られる。	課題 見通しをもって自己調整すること。	

単元を貫く学習課題「動物は獲物を捕らえるために、どのようにまわりのようすを知り、どのように反応するだろうか。」

学習の見通し	0(10/1)	1(10/2)	2(10/3)	3(10/4)	4(10/8)	5(10/9)	6(10/9)	7(10/15)	8(10/16)
学習活動	ガイダンス	- 斉	- 斉	- 斉	- 斉	- 斉、個別	こ		まとめ、振り返り
(私の) 課題設定	実験や観察の結果から <u>規則性や関係性</u> を見だし、言葉で説明する。								
学習計画		動物の筋肉の動き方	動物の行動のしくみ(周囲の状況)	動物の神経系	反射のしくみについて	サバの体のつくり	こ		テスト結果を見直し、単元の問いをまとめる。
目標についての振り返り	いさな、かん点から動物の特徴や規則性、関係性を見つけて、動物の体のはたらきと関連づけながらかんはらこいさたい!	手羽先で調べた、骨とけんがつながっていて、筋肉を伸ばすと足が伸び、もぞくと足が曲がることばわかった。骨はけんにより筋肉とつながっているから体は重たくことがわかった。	動物はまわりの状態を感覚器官で受けとっていることがわかった。目は光の量をセントで調節することばわかった。目は位置、目が見えるからまわりの状況がわかった。	動物は受けとった刺激に対して視覚から脳に伝え、うでなどの運動器官に伝えることばわかった。これを末梢神経ということばわかった。	意識とは関係なく起る反応と反射ということがわかった。刺激から感覚系を通り脊髄から運動神経と脳に同時に伝えていることがわかった。処理速度を生かしてまわりの問題をとけた。	魚をかいほうして調べ、魚と動物は目や胃、臓器などあるものが似ていたけど、ヒレやエラなどないものもある。また、はたらきが分からなから思考を生かして考える!	思考を生かして植物、魚との共通点、相違点を考えられた。また、PCを使ってより深められた。呼吸もしていることが全ての共通点であることがわかった。		自分では言葉にできない表現も、班で協議して、意見で共有するなかで、自分の言語能力をおさなうことばわかった。次の単元では、強めの処理速度も生かせるようにいろいろな情報から整理したり、問題などを理解を深めていきたい。次の単元生かしていきな!

単元テスト

運動のしくみが少し
明かされた!

刺激に対して
反応する仕組み
脳と脊髄の中核神経が
働いているのでおもしろい!

善名をつくる、
善名を返す、

次単元生かしていきな!

保護者印